1. **坂田 ひろみ :** 日本先天異常学会奨励賞, 日本先天異常学会, 2004年7月.
2. **坂田 ひろみ :** Best Teacher of The Year, 2008年3月.
3. **早渕 康信 :** 血管平滑筋細胞におけるカリウムチャンネルの役割解明と制御機序に関する研究, 三木康楽賞, 公益財団法人 康楽会, 2010年1月.
4. **加地 剛, 前田 和寿, 須藤 真功, 佐藤 美紀, 苛原 稔 :** 胎児期から 22q11.2 欠失症候群が疑われた一例, The best imaging賞, 第20回日本超音波医学会四国地方学術集会, 2010年10月.
5. **加地 剛, 前田 和寿, 須藤 真功, 佐藤 美紀, 苛原 稔 :** Dual dopplerを用いた肝静脈 ―下行大動脈血流波形による胎児房室伝導時間の検討―, 里見賞「研究部門」, 第17回日本胎児心臓病学会学術集会, 2011年2月.
6. **坂田 ひろみ :** 胎生期アルコール曝露による脳の形態異常と機能障害の成立機序解明および脳発達障害評価のための新たな指標の創出, 康楽賞, 公益財団法人 康楽会, 2012年1月.
7. **加地 剛 :** 胎児心室間の圧較差について心時相からの解析 (心室中隔欠損単独症例からの検討), 里見賞「研究部門」, 2012年2月.
8. **早渕 康信 :** 医学教育, Best Teacher of the Year 2012, 医学部教員, 2013年3月.
9. **Mayumi Takeuchi, Kenji Matsuzaki, Akira Kuwahara *and* Masafumi Harada :** Diagnostic and Therapeutic Strategy for Endometriosis by MR Imaging with Problem-solving Advanced Techniques, Certificate of Merit, Radiological Society of North America, Nov. 2012.
10. **早渕 康信 :** 肺高血圧症の病態解明と新規治療法の開発, 日本小児科学会 学術研究賞, 日本小児科学会, 2013年4月.
11. **Toshiya Matsuzaki :** UniBIO Press Award, UniBIO Press, May 2013.
12. **福井 義浩 :** Quantitative study of the development of neurons and synapses in the visual cortex of rats reared in the dark during early postnatal life., 形の科学会論文賞, 2013年6月.
13. **松崎 利也 :** 学会賞(八木賞), 中国四国産科婦人科学会, 2013年9月.
14. **早渕 康信 :** 右室自由壁のCircumferential strainは，Longitudinal strainよりも右室機能解析に有用である, 一般口演優秀賞, 日本心エコー図学会, 2014年4月.
15. **漆原 真樹 :** 腎発生における尿中アンジオテンシノーゲンの臨床的意義の検討, 第45回日本腎臓学会西部学術大会優秀演題賞, 日本腎臓学会, 2015年10月.
16. **苛原 稔 :** 学会賞, 日本女性医学学会, 2015年11月.
17. **漆原 真樹 :** ラット半月体形成性腎炎モデルにおける(プロ)レニン受容体を介した病態機序と直接レニン阻害薬による治療効果, 第51回日本小児腎臓病学会学術集会奨励賞基礎遺伝子関連部門, 2016年7月.
18. **平山 晃斉 :** 学部学生の教育に熱心に取り組んだ評価, Best Teacher of the year 2019, 徳島大学医学部, 2020年3月.
19. **梅嶋 宏樹 :** 学部学生の教育に熱心に取り組んだ評価, Best Teacher of the year 2019, 徳島大学医学部, 2020年3月.
20. **漆原 真樹 :** 小児腎病態における腎内レニン・アンジオテンシン系活性化の制御機構, 2019年日本小児科学会学術研究賞, 日本小児科学会, 2019年4月.
21. **竹内 麻由美, 松崎 健司, 西村 正人, 坂東 良美, 原田 雅史 :** 子宮アデノマトイド腫瘍のMRI所見の検討, 特別賞, The Japanese Society for the Advancement of Women's Imaging, 2021年9月.
22. **乾 宏彰 :** Clinical factors associated with dose modification of Olaparib in ovarian cancer patients, 第61回日本癌治療学会学術集会Young Oncologist Award, 日本癌治療学会, 2023年10月.